

1. 概要

雄物川圏域流域治水協議会「下流圏域分科会」は、令和5年7月梅雨前線による大雨をはじめとした激甚な水害や、気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、下流圏域において、あらゆる関係者が協働して流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するために設立しました(令和5年8月30日設立)。

第1回分科会では規約が了承され、また、関係機関から出水概要と浸水被害状況について共有されたほか、各首長から流域治水の検討にあたってのご意見をいただき、流域の関係機関が一体となって進めるため、年内を目途に対策の方針をまとめることを確認しました。

2. 開催日 / 実施状況

日時:令和5年8月30日(水) 場所:秋田河川国道事務所 大会議室
出席者:秋田市(市長)、男鹿市(防災監)、潟上市(危機管理監)、三種町(町長)、五城目町(町長)、八郎潟町(町長)、井川町(町長)、大潟村(村長)、農林水産省東北農政局西奥羽土地改良調査管理事務所(次長)、林野庁東北森林管理局秋田森林管理署(署長)、林野庁東北森林管理局米代西部森林管理署(署長)、気象庁秋田地方气象台(台長)、秋田県総務部(危機管理監)、秋田県農林水産部(次長)、秋田県建設部(部長)、国土交通省東北地方整備局秋田河川国道事務所(所長)、
【学識経験者】秋田大学名誉教授 松富 英夫

合計16の関係機関が参加



議事内容

- (1) 出水概要と国管理河川の状況について
- (2) 雄物川下流域における浸水被害の状況について
- (3) 馬場目川流域における浸水被害の状況について
- (4) 意見交換 [出席委員からご発言]



秋田市



三種町



五城目町



八郎潟町



井川町



大潟村



男鹿市



潟上市

3. 主な意見・コメント等

- ・ 分科会が設立されたことに大いに期待している。
- ・ 太平川、旭川の外水・内水氾濫も適切に対応すれば、被害を最小限に抑えることができると考えている。
- ・ 馬場目川水系河川整備計画の策定はスピード感を持って進めてほしい。
- ・ 馬場目川水系の整備計画の策定に向けた対応をしたい。(県)
- ・ 三種川河川改修並びに床上緊急対策は、確実に事業効果が出ている。家屋移転について、地域意向を聞きながら対応する時期にあると実感。
- ・ 八郎湖水位を事前に下げよう、防潮水門を柔軟に運用してほしい。浚渫が進まない箇所は、伐採を優先して進めてほしい。
- ・ 八郎湖の防潮水門は、今回は事前放流を行って水位を下げた。(県)
- ・ 元々危険な場所に住んでいるという覚悟をもって準備しておく必要があることを、住民へ知らせることが重要。
- ・ 関係機関が協力して流域治水を推進してほしい。